

「軽水冷却スーパー高速炉に関する研究開発」が原子力システム研究開発事業に採択

科学技術振興機構の原子力システム研究開発事業の革新技術創出発展型研究開発(革新的原子炉技術)に**岡教授**が代表者の**「軽水冷却スーパー高速炉に関する研究開発」**が採択されました。「火力発電で経験豊富な超臨界圧水冷却を用い、熱中性子炉より高出力密度である高速炉の利点を生かして、安全性と経済性に優れた大型スーパー高速炉の概念と特性を炉心設計と安全解析で明らかにする。開発上の重要課題である炉物理、伝熱流動、材料・冷却材相互作用の試験を行い基盤となるデータベースを構築する。」計画です。早稲田大学が委託を受けて、**師岡教授**も参加し、東京大学、九州大学、東北大学、日本原子力研究開発機構、産業技術総合研究所、テプコシステムズを連携機関として研究開発を3年間行う計画です。

(<http://www.jst.go.jp/nrd/bosyu/h22result/shiryo1.html>)